

# ココラボ西新 広報紙 九月号

# 中秋の名月

今月の休日  
 1(土) 2(日) ココラボ西新 〒814-0002  
 8(土) 9(日) 福岡市早良区西新 4-9-6  
 15(土) 16(日) ふくかねビル 3F  
 23(日) TEL 092-407-3809  
 29(土) 30(日) FAX 092-407-3869

2018年の十五夜は9月24日(月)です。十五夜は「中秋の名月」とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る月」という意味があります。現在の新暦では9月7日から10月8日までの間で満月が出る日を十五夜としています。十五夜の歴史は、日本では縄文時代から風習はあり、盛んになったのは平安時代貴族の間に広まってからです。庶民も十五夜を楽しむようになったのは江戸時代に入ってからで、農作物を無事に収穫できる喜びを分かち合い感謝する日でもありました。お供えの月見団子は、団子を月に見立て、感謝の気持ちを表すそうです。十五夜なら15個、ピラミッドのように積んで供えます。これは一番上の団子が霊界との架け橋になると考えられていたからです。9月24日は、ちょうど夜は涼しく空が澄んでいる頃ですね。忘れずにお月見を満喫されてはいかがでしょうか。

## 秋を呼ぶ祭事

酷暑も過ぎ、朝晩と随分涼しくなってきて秋へと近づいて来ました。さて、福岡の秋といえば宮崎宮で開催される「放生会」ですね。他の地域で行われる放生会は「ほうじょうえ」と読みますが、福岡では「ほうじょうや」と読みます。春の「博多どんたく」夏の「博多祇園山笠」と並ぶ博多の三大祭りに数えられています。

放生会って?と思われる方もいらっしゃると思いますが、放生会とは無駄な殺生を戒め、大地の恵みに感謝を捧げる行事です。福岡の放生会の歴史は千年以上とも伝えられ、貴重な行事が現在に伝わるお祭りでもあります。

期間中は500件もの露店がズラリと並び、多種多様な昭和の懐かしい食べ物の屋台や見世物小屋、ちょっと怖いお化け屋敷が軒を連ねています。お祭りに新生姜が売られていますが、宮崎宮周辺は生姜の栽培が盛んで、この時期に取れる新生姜を販売していた名残だそうです。他にもレトロな遊戯系の屋台などもありますので、参拝のあとに楽しんでみてはいかがでしょうか?

## パソコンの日

1979(昭和54)年のこの日、NECがパーソナルコンピューターPC-8000シリーズを発売し、パソコンブームの火付け役になったことから、この日がパソコン記念日となりました。ちなみに世界初のカラーノートPCを開発したのもNEC。1984年にMACが誕生したことから、やはり日本の先見性と技術力は素晴らしいものがあります。毎日何気に使っているパソコンにも記念日が存在していて驚きですね。



## メンバーの声

私がココラボ西新にお世話になり始めて、約二ヵ月半が経ちました。入って間もない頃は、こちらに馴染めるだろうか、やって行けるだろうかなど不安な心境だった事も覚えています。現在は事業所の仲間やスタッフの皆さんの優しさと支えがあり、今こうして通い続けられているのだと実感しています。肝心の仕事に関しては、心身の状態もありますので上手くいかない事も多々あり迷惑ばかり掛けていますが、サポートを受けながら自分を成長させる意味で事業所に通っています。今後は少しでも仕事の質の向上や新しい何かを得られるように頑張っていこうと思っています。